



〈支援方針〉

「非認知能力」を高める

子どもたちが安心できる環境で
自己肯定感、人や社会と関わる力
生活習慣など、将来の自立に向けて
ストレスに負けない生き抜く力を
育む。

放課後等デイサービス 第3アミスター 支援プログラム

〈営業時間〉

月曜日～金曜日

9:30～17:30

土曜日

8:30～17:30

〈送迎の有無〉

あり



〈法人(事業所)理念〉

～Dare to be different～ あえて違う者になれ

人や社会と関わる力、生活習慣など、将来の自立
に向けて、家庭環境や発達の特性等様々な困難
に直面する子どもたちが「生きる力」を育み、安心
して過ごせる居場所を目指す。

本人支援

〈健康・生活〉

「できることは自分で」

自分の持ち物を管理できるようになることや、忘れ物を減らすこと、元の場所に戻すなど、自室の清掃を子どもたち同士で協力して行うことで身の回りを清潔に保つことへの意識付けをし、社会の中で生活するために大切なことを「自分でできるようになる」よう支援をしています。

〈運動・感覚〉

「たくさんの体験を」

レクリエーションやリズム遊びなどの活動を通して、視覚・聴覚を刺激し、運動機能の向上、仲間と遊ぶ楽しさや、協力する気持ちや助け合う心などを育てています。また、製作などの指先を使ったトレーニングを行い、創造力や集中力、手先の器用さ等を高めていく療育も取り入れています。

〈言語・コミュニケーション〉

「相手に伝わる言葉」

自分が伝えたいことを、どのような言葉や伝え方をすれば相手に伝わるかを考え、誤解を避けるような言葉選びができるよう普段の会話の中から意識をして支援しています。また、絵本の読み聞かせの中から言葉を引き出し、いろいろな考え方や伝え方があることを学び、自分の考えを発表する、手紙を書くなどの活動も行っています。

〈認知・行動〉

「相手を尊重し、寄り添う」

「相手の気持ちを考える」「相手の表情からどんな気持ちかを読み解く」「相手の良いところを見つけよう」などの他者と向き合う療育を多く取り入れ、自分の考え方の偏りを冷静に振り返り、適切な思考に変えていくことで、気持ちや行動をコントロールするとともに、感謝の気持ちや誰かの役に立てたことや、認められたという気持ちを育てながら、仲間としての意識や絆も深めています。



〈人間関係・社会性〉

「人と関わる楽しさを知る」

一人遊びから、集団に参加するための手順やルールを学び、遊びや集団活動に、自ら興味を持って、参加できるようにしています。また、異年齢児や他校の友達との交流を積極的に取り入れ、その関わりの中から挨拶や礼儀なども意識し、互いの存在を認め合い、信頼関係を深め、安定した関係を築くことができるよう支援しています。

〈家族支援〉

療育の様子等を連絡帳（保護者連絡ツール用アプリ「コドモン」の運用）や送迎時に伝え、定期的に面談を行い支援について共有しています。

本児が自分で考え、選択できるように一緒に具体的な方法を伝え、実践出来るようにしています。

〈移行支援〉

移行先（保育所や幼稚園、学校）へ活動の際のこどもとの関わりについてなど伝えてスムーズに移行できるよう連携をとっていきます。

高校卒業後の就労支援などの社会資源を活かして自立に向けて相談事業所とともにサポートを行います。



〈地域支援・地域連携〉

定期的または適宜に連携会議を開催し、情報収集・役割分担、具体的な場面でのこどもとの関わり方を話し合い、共有しています。

〈職員の質の向上〉

障害や幼児期の発達、障害児支援の技法や理論などについて定期的な職員研修や外部講師を招いたチームビルディングなどの研修を開催し、職員の支援スキル向上に繋げています。

自己研鑽ができるよう資格取得の機会を提供しています。

〈主な行事等〉

- 野外活動わくわく探検隊（自然をテーマとして連休や長期休暇などを利用し宿泊・キャンプイベントを実施）
- お誕生日会
- 避難訓練
- 夏祭り
- ハロウィン
- クリスマス
- おもちつき
- 節分
- ひなまつり
- 震災を忘れない
- 社会体験（図書案内、お買い物体験、リサイクル活動、お泊り会）